

富山県の糖尿病の現状

富山県の概況

総人口 (R6. 10. 1) 995,955人
 高齢化率 (R6. 10. 1) 33.4%
 ■糖尿病専門医数 74名
 ■腎臓専門医数 61名

高岡医療圏

■人口 288,949人
 高齢化率 34.7%
 ■糖尿病専門医 20名
 ■腎臓専門医 16名

砺波医療圏

■人口 118,609人
 高齢化率 36.8%
 ■糖尿病専門医 7名
 ■腎臓専門医 4名

新川医療圏

■人口 108,002人
 高齢化率 36.8%
 ■糖尿病専門医 7名
 ■腎臓専門医 6名



富山医療圏

■人口 480,395人
 高齢化率 31.1%
 ■糖尿病専門医 40名
 ■腎臓専門医 35名

出典：富山県人口移動調査

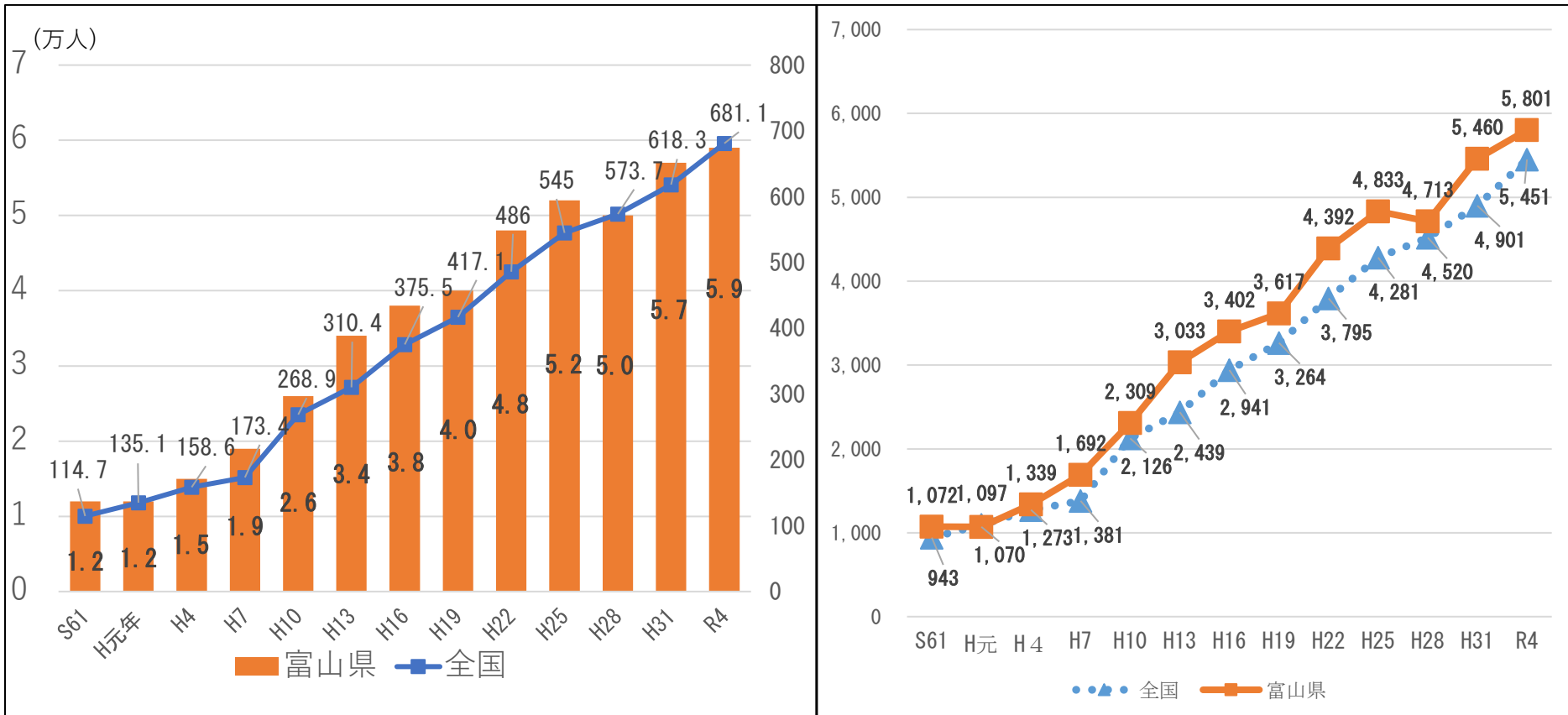
糖尿病専門医数：日本糖尿病学会 (R7.10.1現在)

腎臓専門医数：日本腎臓学会 (R7.6.30現在)

糖尿病による通院者数の推移

○糖尿病による通院者は富山県、全国ともに増加傾向であり、昭和61年から令和4年で全国は5.9倍、本県では4.9倍となっています。

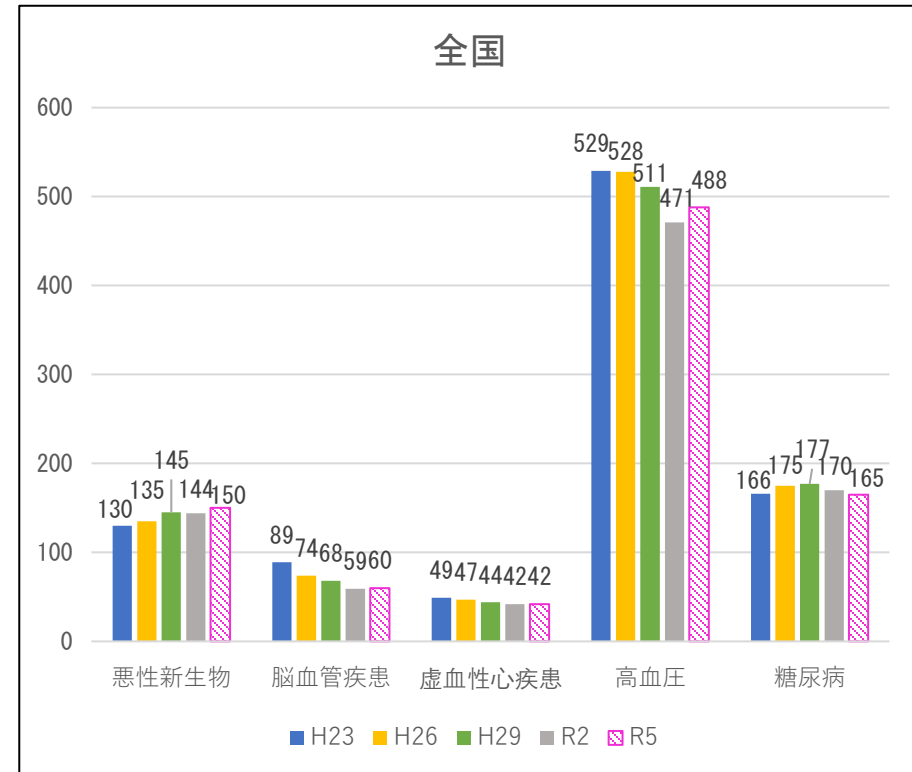
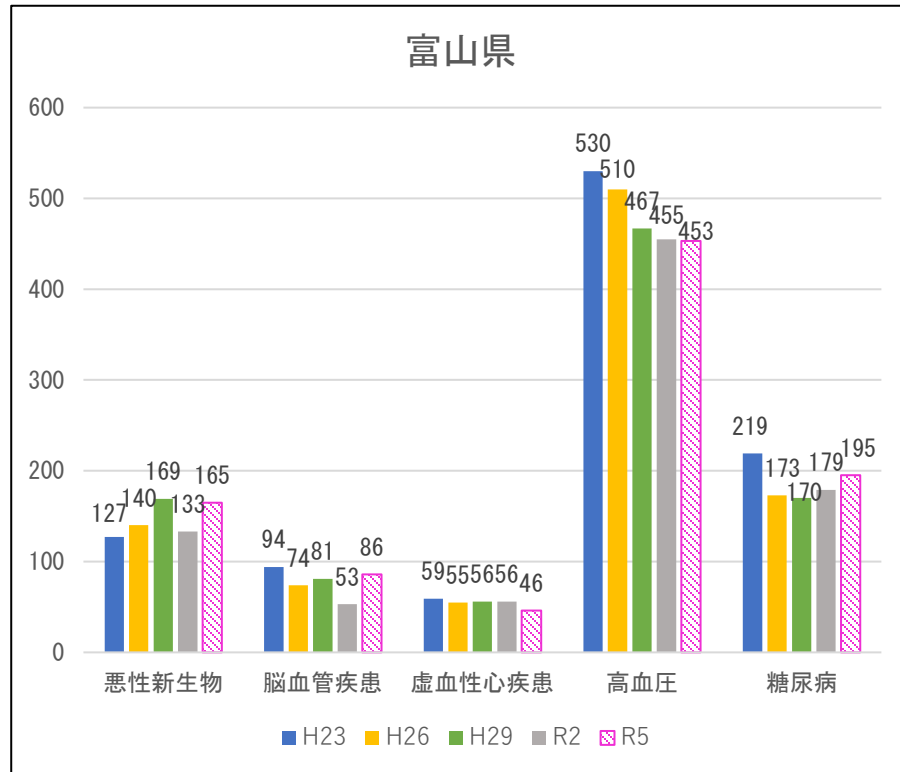
○糖尿病の通院者数（人口10万対）は富山県は全国よりも高い傾向にあります。



出典：国民生活基礎調査

主な疾患別外来受療率の推移（人口10万対）

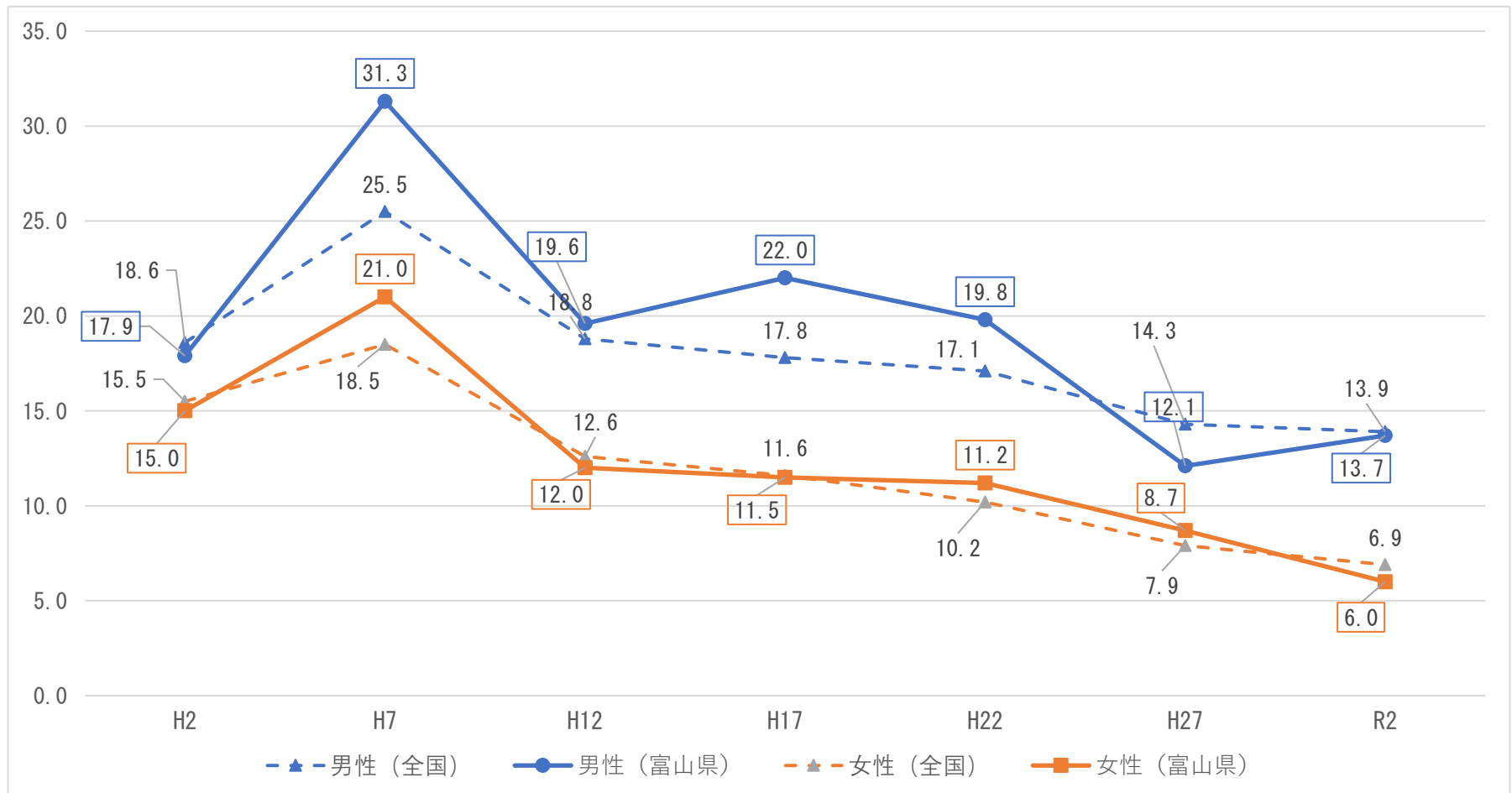
○糖尿病の外来受療率（人口10万対）は全国と比較するとやや高い傾向にあります。



糖尿病の年齢調整死亡率の推移

- 糖尿病の年齢調整死亡率は全国・富山県ともに概ね、減少傾向です。
- 富山県の年齢調整死亡率は、男性で全国よりも高い傾向にあり、女性は全国並みです。

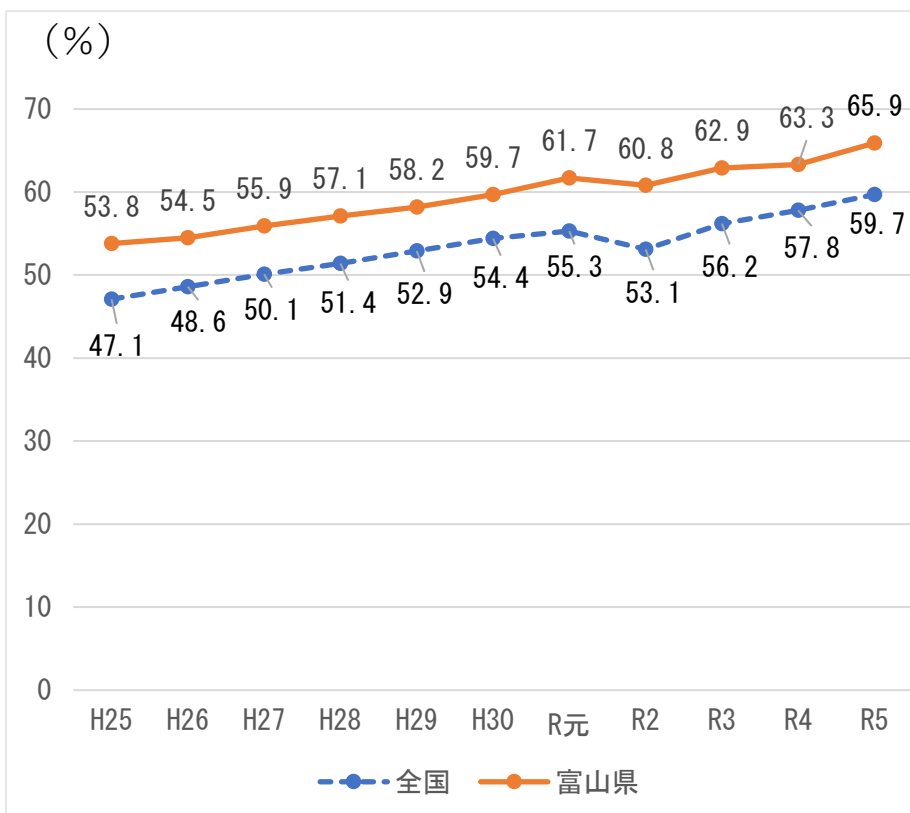
糖尿病の年齢調整死亡率（平成27年モデル人口）



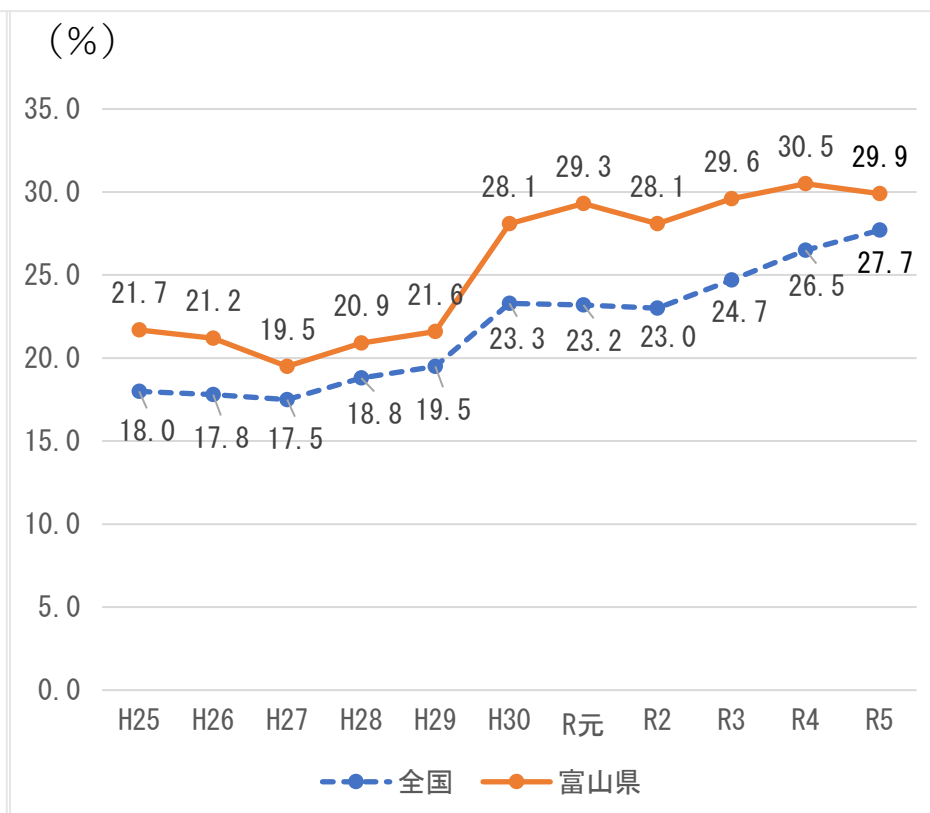
特定健康診査・特定保健指導等の状況

○本県の特定健康診査受診率や特定保健指導実施率は年々高くなっており、全国平均より高くなっています。

特定健康診査受診率の推移



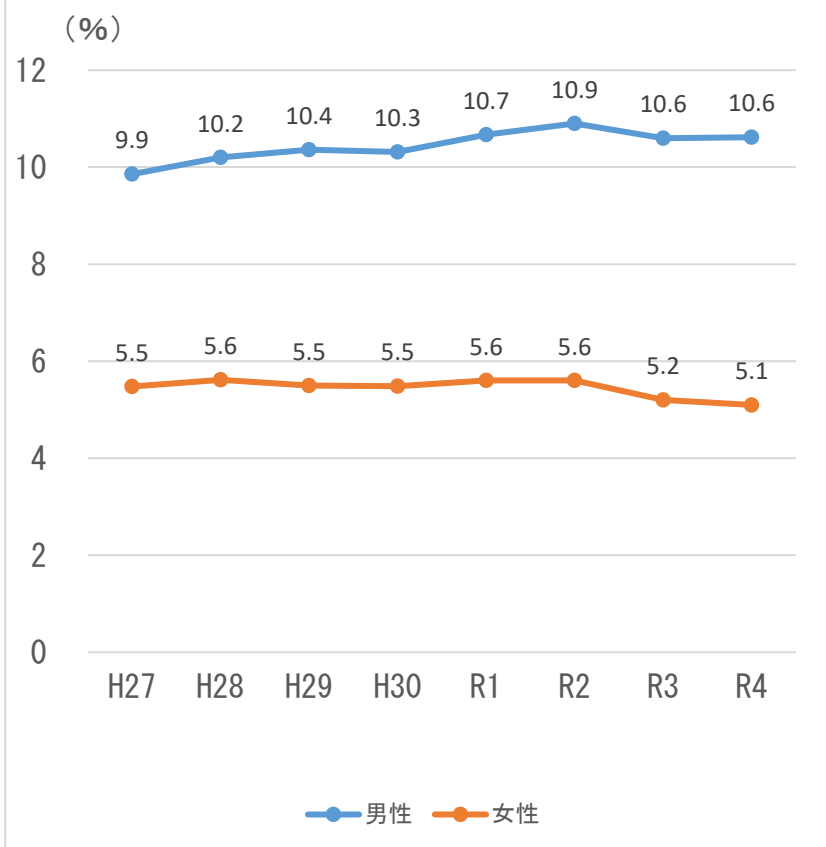
特定保健指導実施率の推移



特定健康診査における高血糖者の割合の推移

○高血糖者（HbA1c6.5%以上）は男女ともに一定の割合で推移しています。

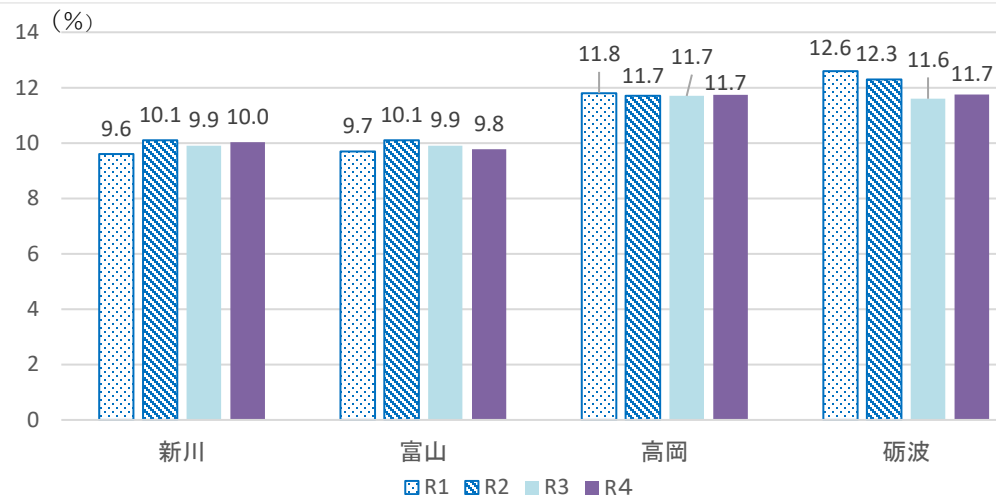
高血糖者の割合の推移



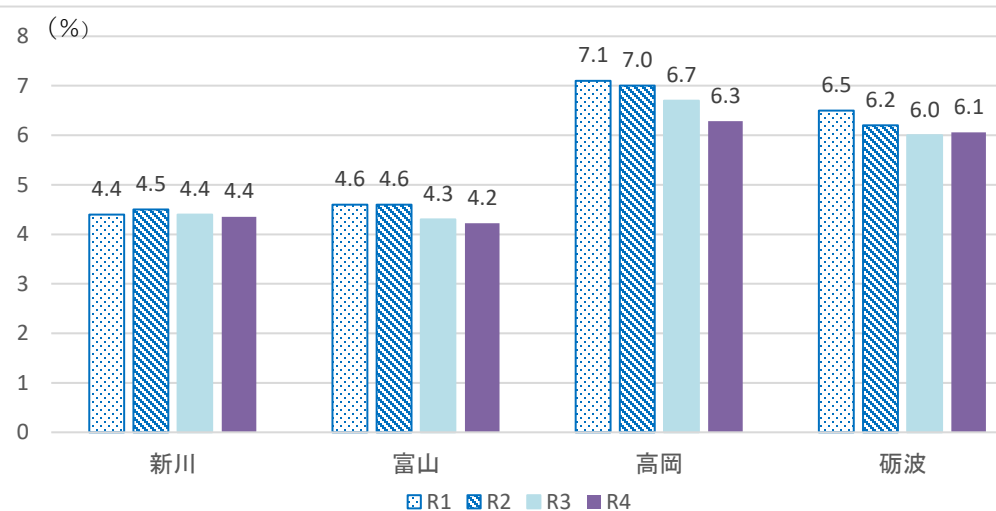
※高血糖とはHbA1c6.5%以上として算出

出典：厚生労働省「NDBオープンデータ」

【参考】医療圏別高血糖者の割合の推移（男性）

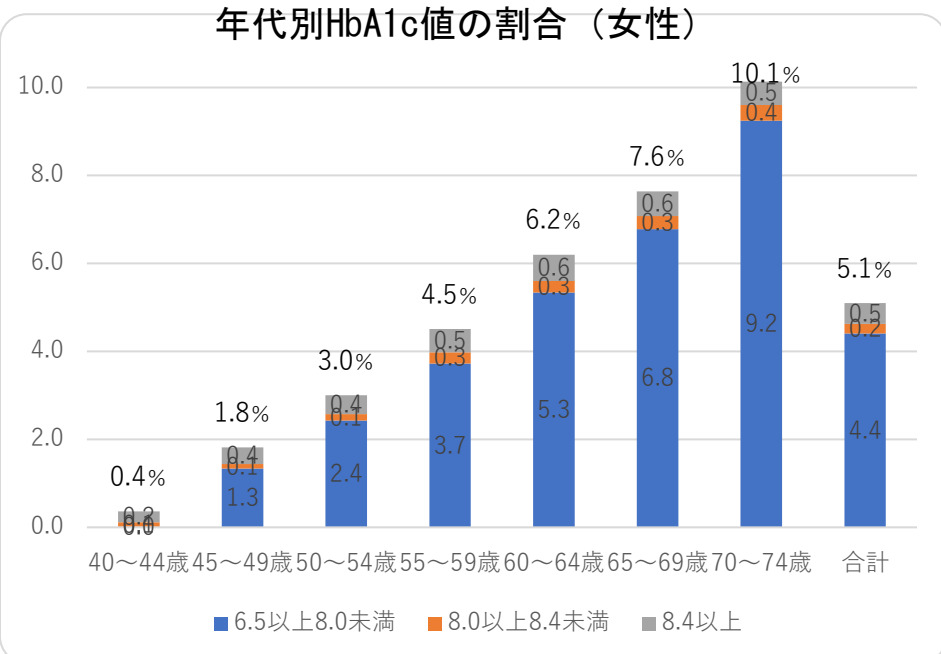
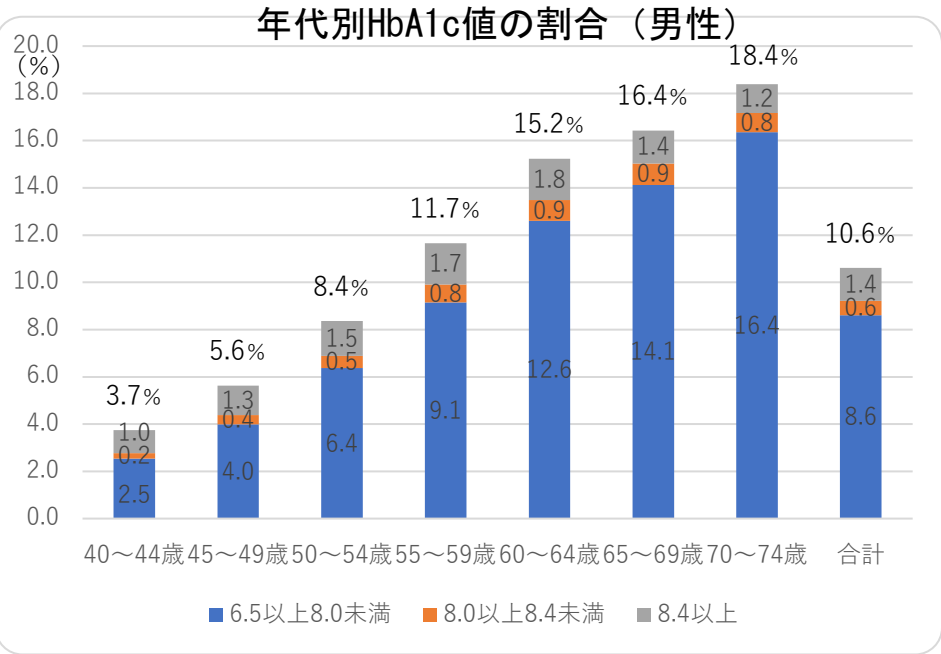


【参考】医療圏別高血糖者の割合の推移（女性）



年代別高血糖者 (HbA1c6.5%以上) の割合 (令和4年度特定健康診査)

○男女ともに年代が上がるごとに高血糖者 (HbA1c6.5%以上) の割合も増加しています。



年代別HbA1c値の実数 (人)

<男性>

検査値階層 (%) ※NGSP値	男							
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
6.5以上8.0未満	436	877	1,430	1,633	1,861	1,758	2,505	10,500
8.0以上8.4未満	39	86	116	136	129	113	124	743
8.4以上	168	277	330	312	259	174	188	1,708

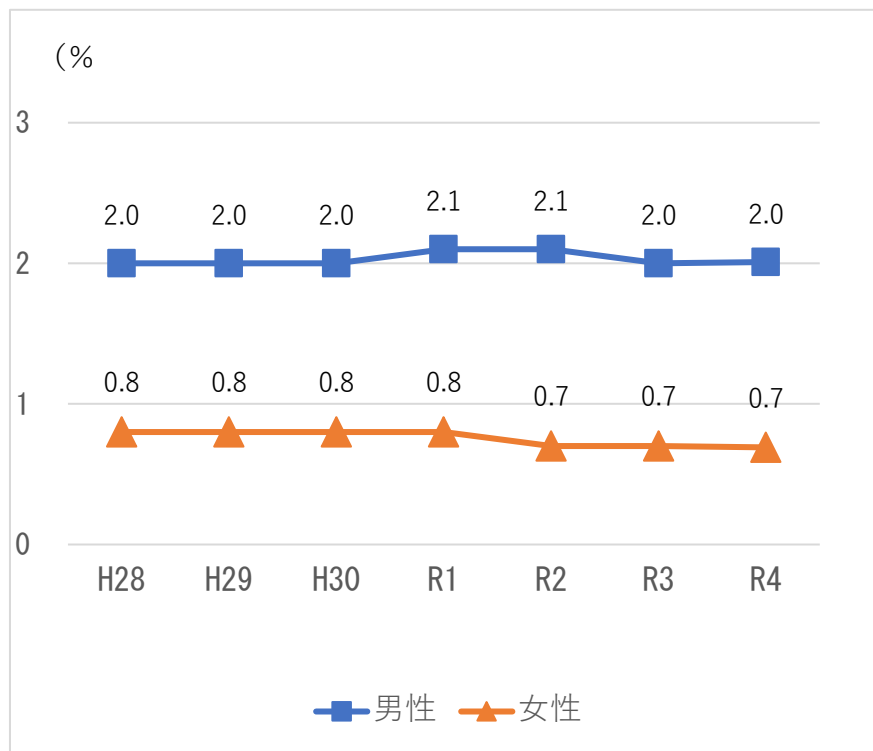
<女性>

検査値階層 (%) ※NGSP値	女							
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
6.5以上8.0未満	117	225	427	548	699	952	1,842	4,810
8.0以上8.4未満	13	18	26	38	34	41	71	241
8.4以上	32	63	76	78	79	79	106	513

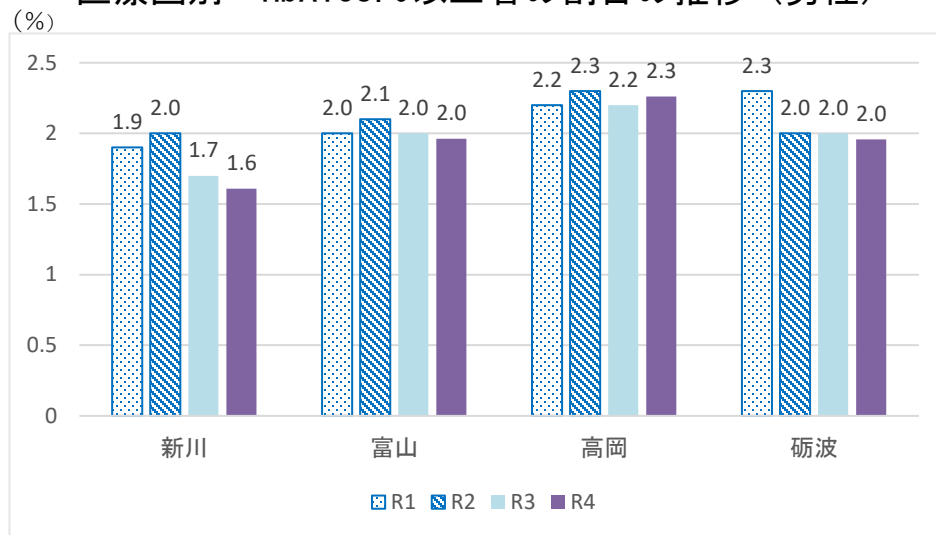
特定健康診査におけるHbA1c8.0%以上の割合の推移

○HbA1c8.0以上者は男女ともに一定の割合で推移しています。

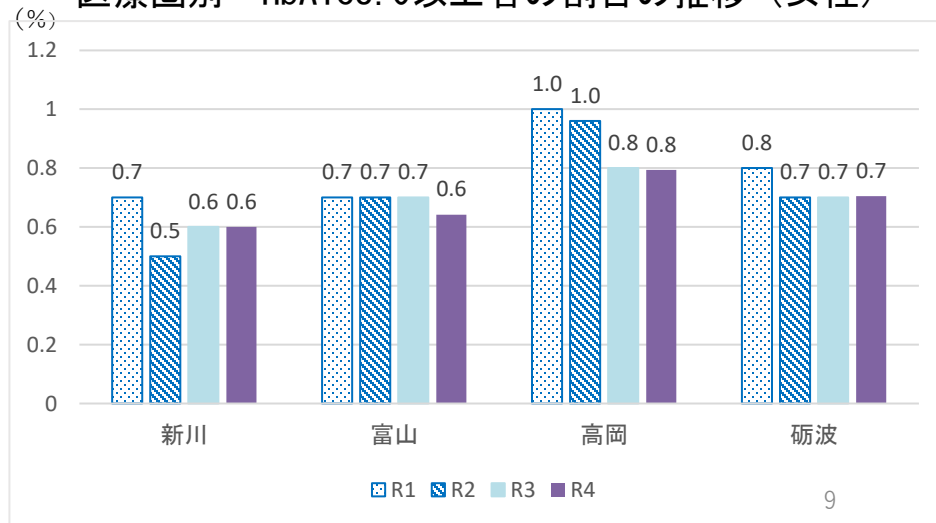
HbA1c8.0以上者の割合の推移



医療圏別 HbA1c8.0以上者の割合の推移（男性）

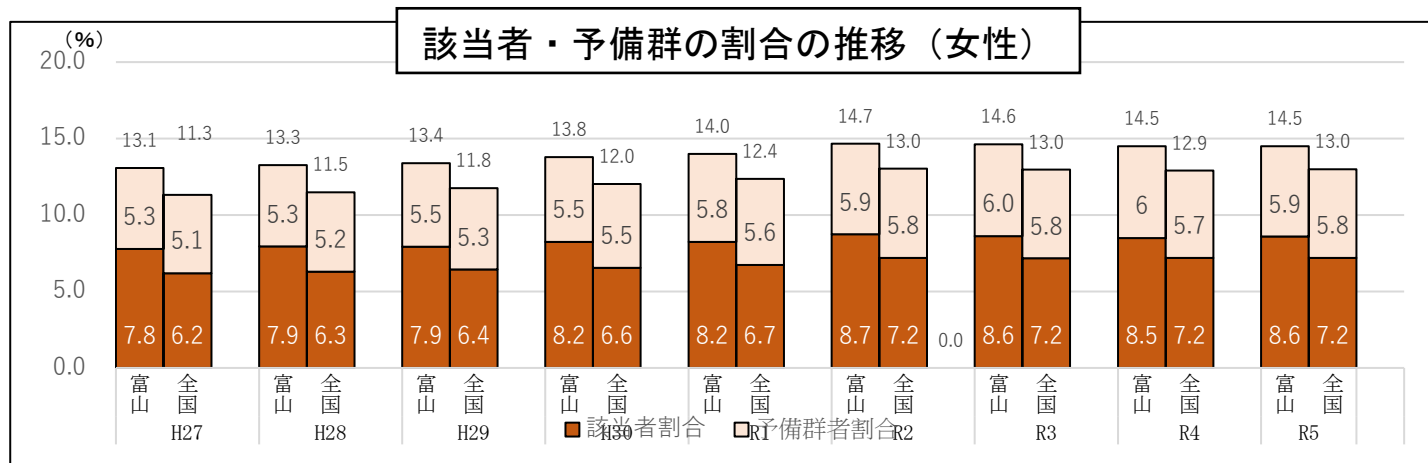
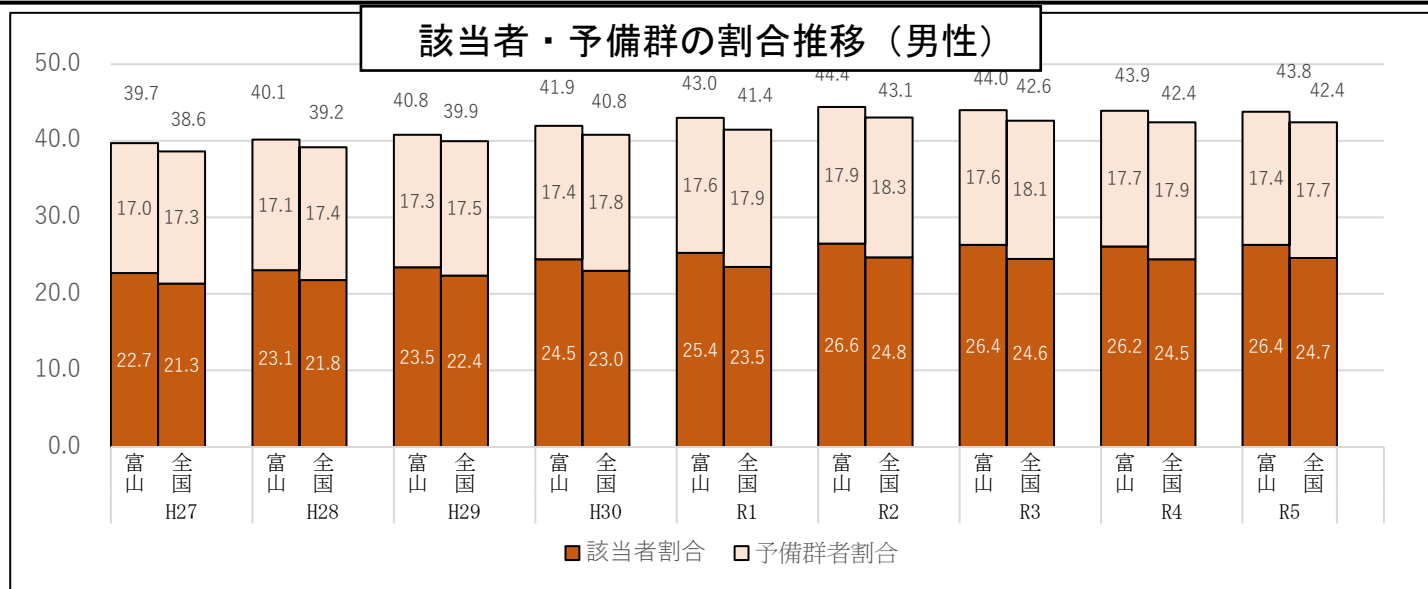


医療圏別 HbA1c8.0以上者の割合の推移（女性）



メタボリックシンドロームの該当者・予備群の状況

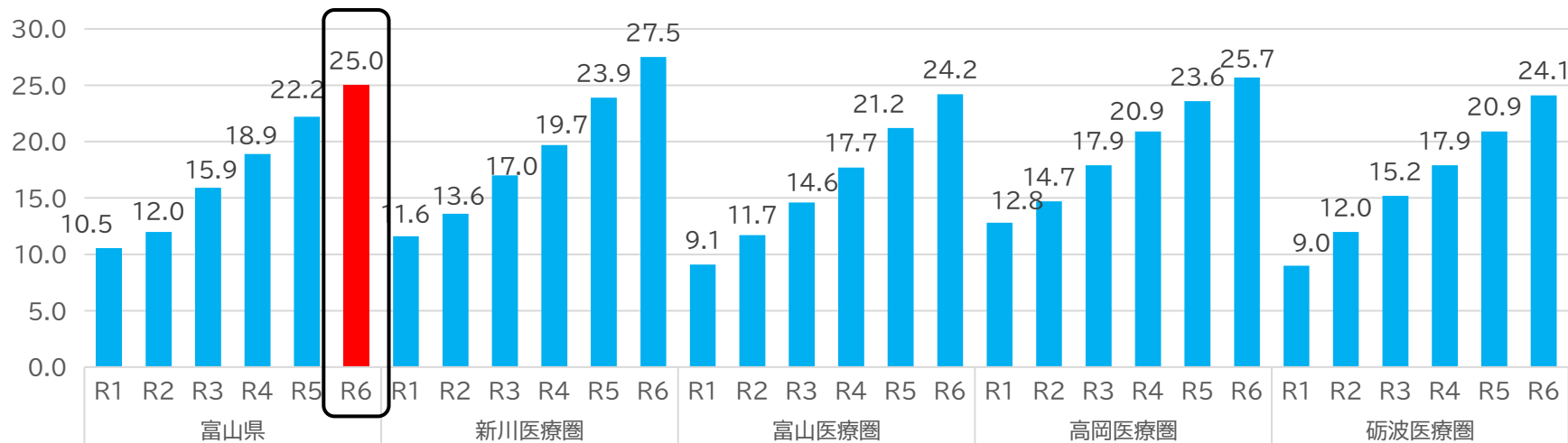
○男女ともにメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合は全国平均より高くなっています。



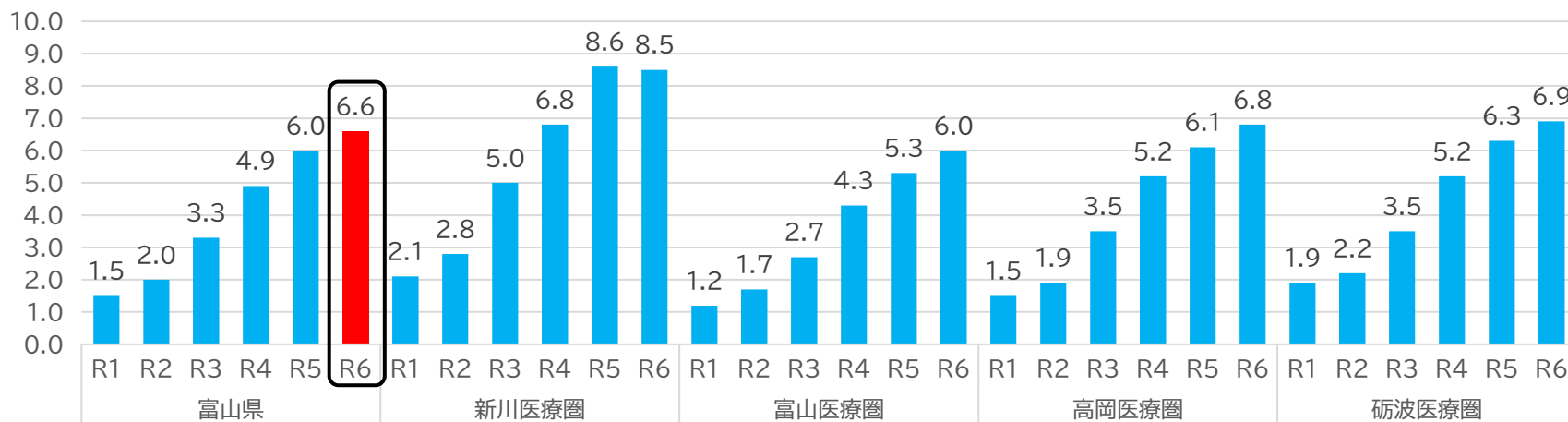
SGLT2阻害薬・GLP1作動薬使用割合

○SGLT2阻害薬、GLP1作動薬の使用割合は上昇しています。

糖尿病患者に占めるSGLT2阻害薬使用者の割合（％）（市町村国保）



糖尿病患者に占めるGLP1作動薬使用者の割合（％）（市町村国保）

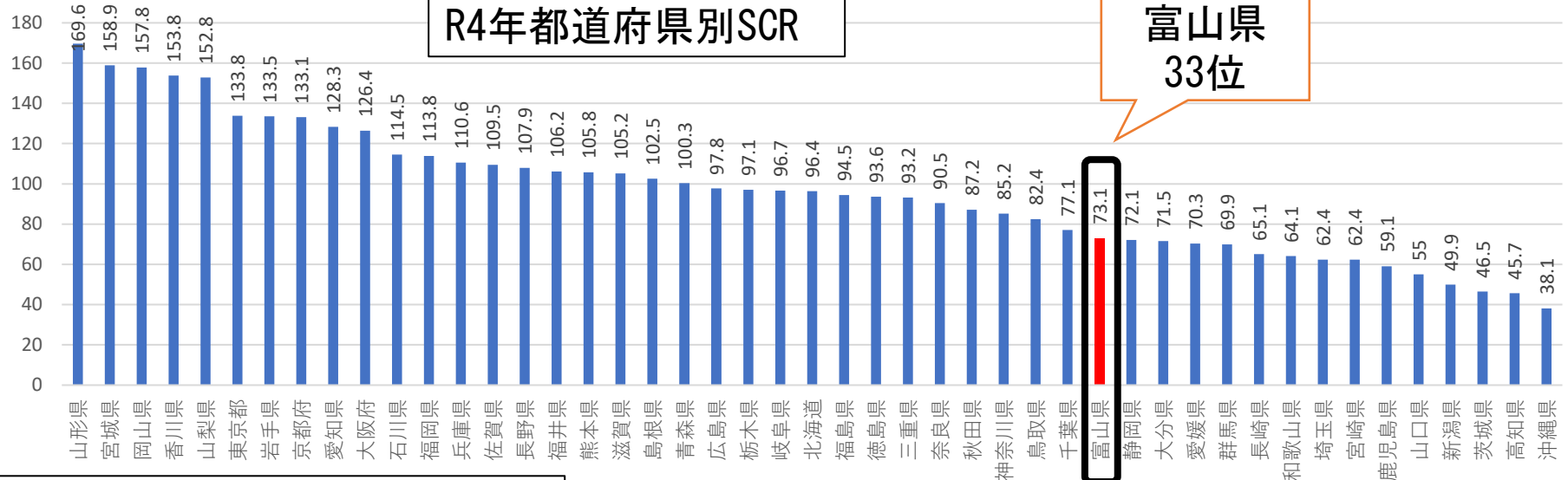


出典：KDB補完システム（R7年8月集計時点）

尿中アルブミン検査の診療実績（SCR）

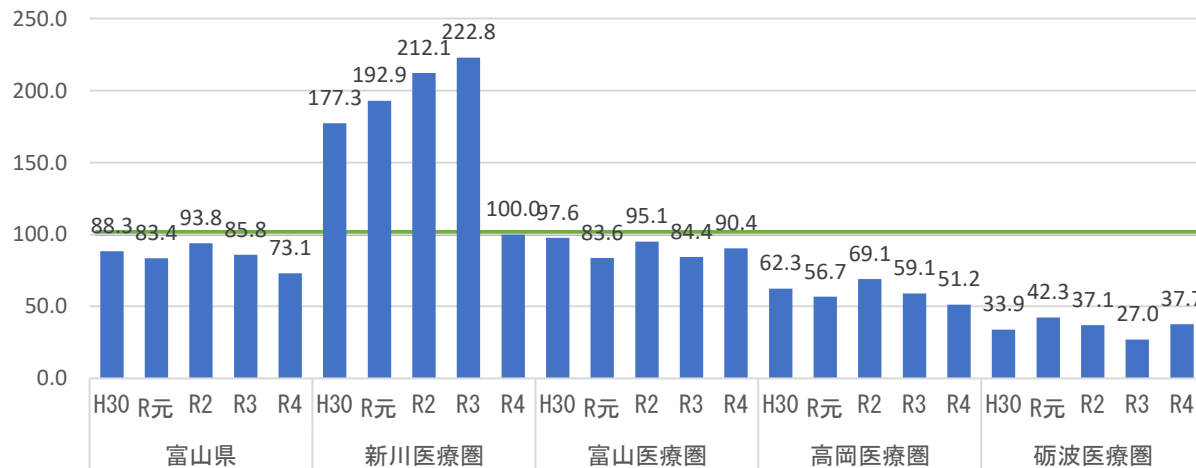
尿中アルブミン検査（定量）の富山県、医療圏別SCR【入院】

R4年都道府県別SCR



富山県
33位

富山県、医療圏別SCRの推移



診療分データ（SCR）

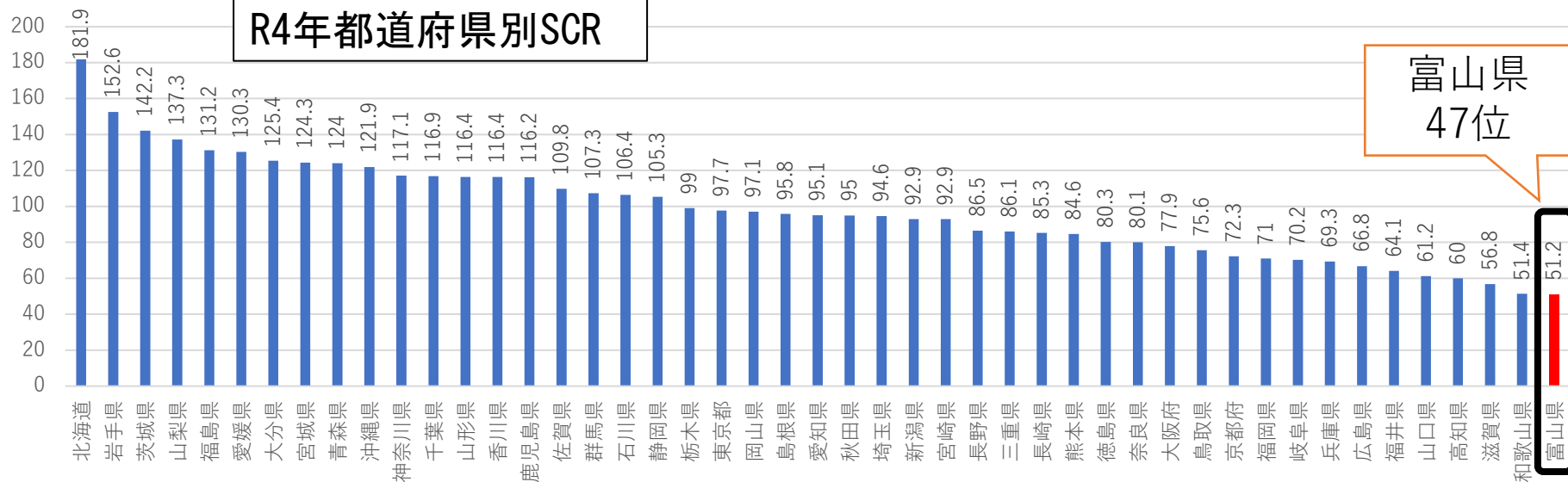
レセプト出現件数を年齢調整したスコアで、全国平均を100としている。

【留意点】

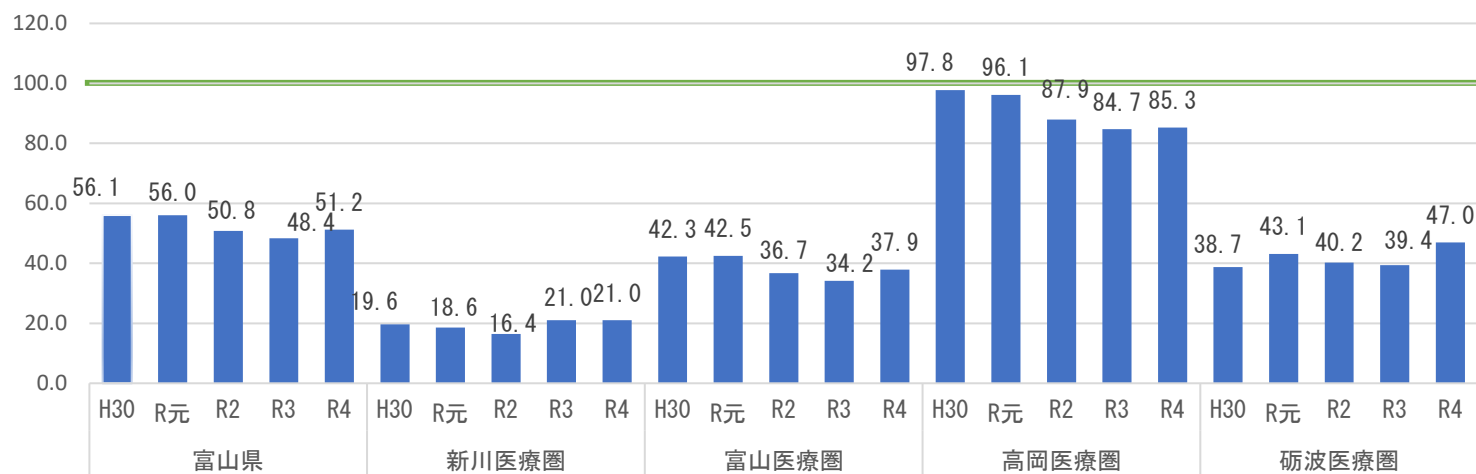
- ・紙レセプトの医療機関、公費単独（生活保護等）の患者分は含まれない。
- ・人口2,000人以下の町村と、対象医療機関数が3未満となるデータは非公開。

尿中アルブミン検査（定量）の富山県、医療圏別SCR【外来】

R4年都道府県別SCR



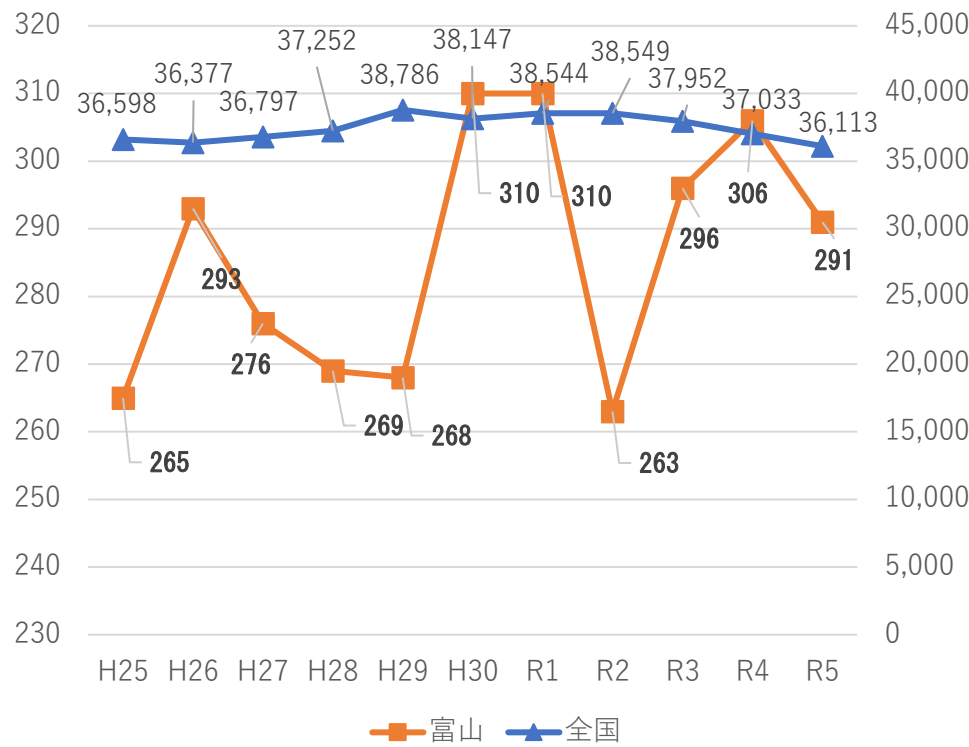
富山県、医療圏別SCRの推移



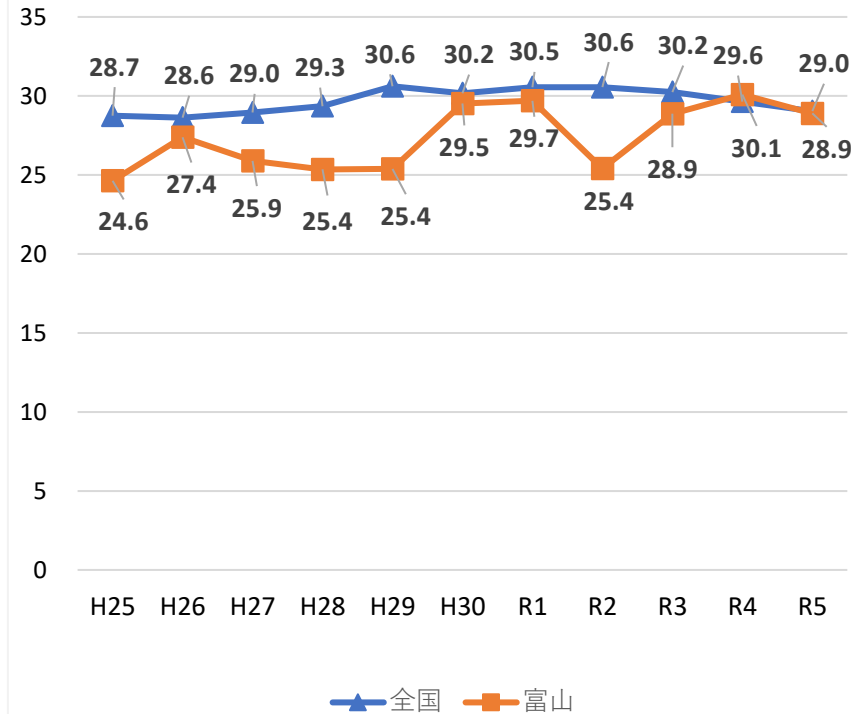
新規透析導入患者数の推移

○全国の新規透析導入患者数はほぼ横ばいで推移しており、本県においては、約260人～約310人で推移しています。

新規透析導入患者数の推移

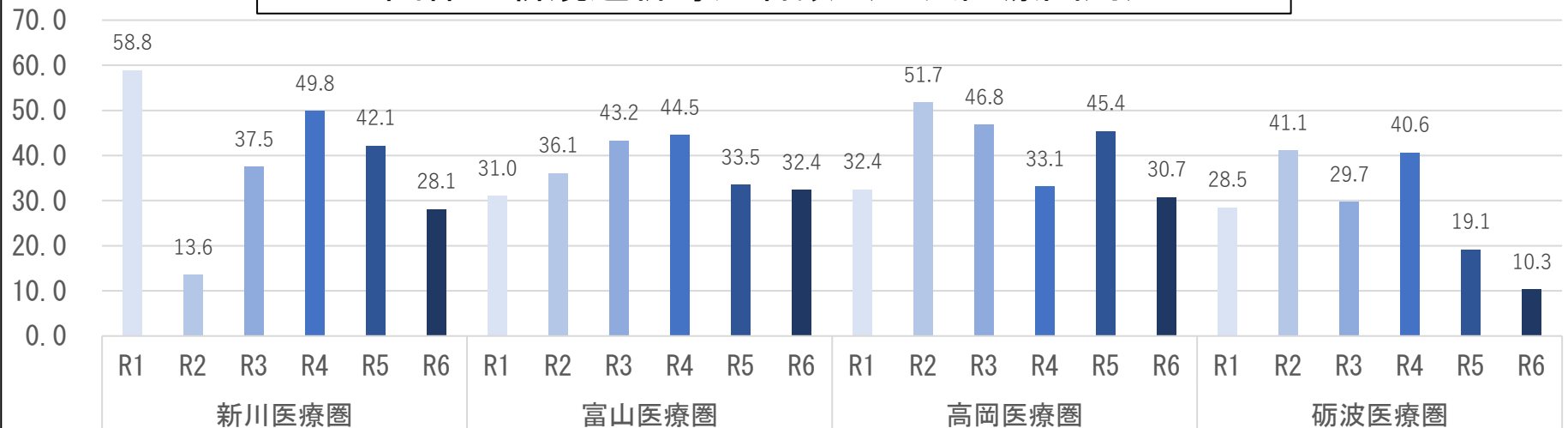


新規透析導入患者数の推移（人口10万対）

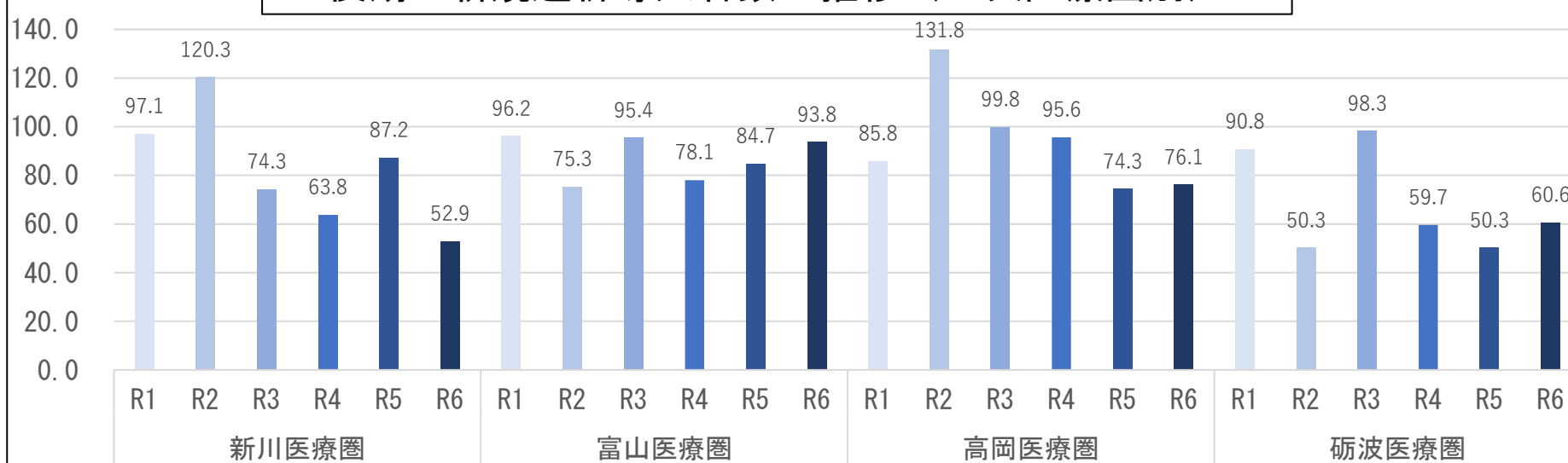


新規透析導入患者（国保、後期）数の推移（人口10万対）

国保の新規透析導入者数（二次医療圏別）



後期の新規透析導入者数の推移（二次医療圏別）



糖尿病性腎症を原疾患とする新規透析患者数の推移

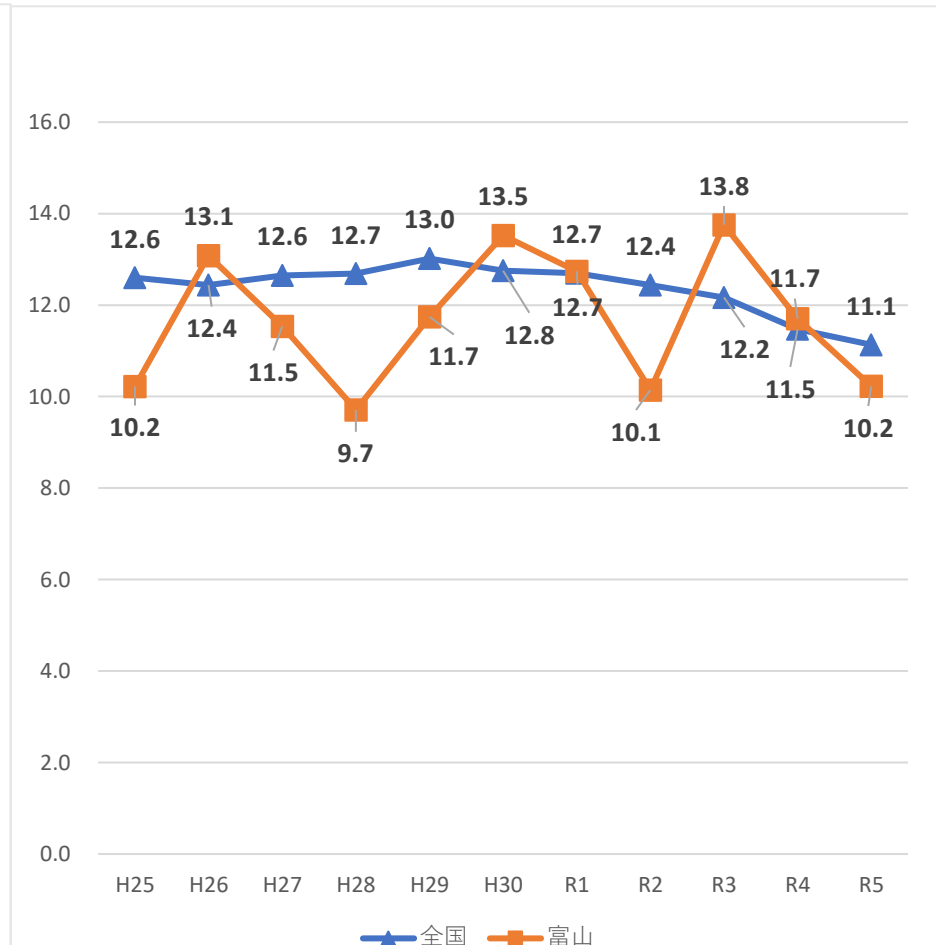
○糖尿病性腎症を原疾患とする新規透析導入患者数は全国においては、緩やかに減少傾向です。本県においては、約100人～140人前後で推移しています。

新規透析導入患者数の推移



出典：日本透析医学会 統計資料

新規透析導入患者数の推移（人口10万対）



出典：日本透析医学会統計資料に基づき、県健康課で算出

透析導入患者の主要原疾患率の推移

○全国、富山県ともに透析導入患者の主要原疾患は糖尿病性腎症の割合が最も高く、約4割を占めます。次いで腎硬化症の割合が高く、約2割を占めています。

年別透析導入患者の主要原疾患率の推移

